

## 請求の範囲

- [請求項1] 4-メチル-1-ペンテン・ $\alpha$ -オレフィン共重合体(A-1) 10～50質量部と、  
無機物(B) 50～90質量部(4-メチル-1-ペンテン・ $\alpha$ -オレフィン共重合体(A-1)と無機物(B)の合計を100質量部とする)と、  
を含み、且つ、  
下記要件(a)，(b)を満たすことを特徴とする樹脂組成物(X)  
：  
要件(a)；-40～150℃の温度範囲で、10rad/s(16Hz)の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、tan $\delta$ ピーク温度が、0℃以上60℃以下である。  
要件(b)；-40～150℃の温度範囲で、10rad/s(16Hz)の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、tan $\delta$ ピーク値が、0.8以上5.0以下である。
- [請求項2] 熱可塑性樹脂(A) 10～50質量部と、  
無機物(B) 50～90質量部(熱可塑性樹脂(A)と無機物(B)の合計を100質量部とする)と、  
を含み、且つ、  
下記要件(a)，(b)を満たすことを特徴とする樹脂組成物(X)  
：  
要件(a)；-40～150℃の温度範囲で、10rad/s(16Hz)の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、tan $\delta$ ピーク温度が、0℃以上60℃以下である。  
要件(b)；-40～150℃の温度範囲で、10rad/s(16Hz)の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、tan $\delta$ ピーク値が、0.8以上5.0以下である。
- [請求項3] 前記4-メチル-1-ペンテン・ $\alpha$ -オレフィン共重合体(A-1)

）が、下記要件（c）～（f）を満たすことを特徴とする、請求項1に記載の樹脂組成物（X）：

要件（c）；共重合体（A-1）は、4-メチル-1-ペンテンから導かれる構成単位（i）と、 $\alpha$ -オレフィン（ただし、4-メチル-1-ペンテンを除く。）から導かれる構成単位（ii）との合計を100モル%として、当該構成単位（i）55～90モル%と、当該構成単位（ii）10～45モル%とからなる。

要件（d）；共重合体（A-1）は、示差走査熱量計（DSC）によって測定される融点（ $T_m$ ）が160℃以下または観測されない。

要件（e）；共重合体（A-1）は、-40～150℃の温度範囲で、10rad/s（1.6Hz）の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、 $\tan \delta$ ピーク温度が、15℃以上45℃以下である。

要件（f）；共重合体（A-1）は、-40～150℃の温度範囲で、10rad/s（1.6Hz）の周波数で動的粘弾性測定を行って得られる、 $\tan \delta$ ピーク値が、0.6以上5.0以下である。

[請求項4] 前記無機物（B）が、硫酸マグネシウム、硫酸バリウム、炭酸カルシウム、酸化マグネシウムおよびタルクからなる群より選ばれるいずれか1以上であることを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載の樹脂組成物（X）。

[請求項5] 無機物（B）の平均粒子径が0.01 $\mu$ m～100 $\mu$ mであることを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載の樹脂組成物（X）。

[請求項6] 請求項1～5のいずれか一項に記載の樹脂組成物からなる成形体。

[請求項7] 請求項1～5のいずれか一項に記載の樹脂組成物からなるシート。

[請求項8] 請求項1～5のいずれか一項に記載の樹脂組成物からなる玩具。

[請求項9] 請求項1～5のいずれか一項に記載の樹脂組成物からなる日用雑貨。

[請求項10] 請求項1～5のいずれか一項に記載の樹脂組成物からなる電子機器。

筐体。